

階段廻り部材

このたびは WOOD ONE の商品をご利用いただき、厚くお礼申し上げます。施工前にはこの説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願いいたします。なお、お気付きの点、ご不明な点がございましたら、ご連絡なく弊社までお問い合わせください。

安全上のご注意



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じる恐れがあります。確実にお守りください。



屋内専用です。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。



注意!

手すり・親柱・子柱の取付け時には必ずお守りください。

転倒転落防止の為に、次の点に配慮して取付けてください。  
子柱（手すり子）の間隔は、子供がすりぬけないように段板を使用する場合は2本、2階ホール等に使用の場合は芯々135%以下としてください。なおホールでの手すりの接続は必ず親柱、手すり同士の接続はしないでください。  
2階ホールの手すりの高さは床面より1100%基準としてください。  
手すりの接続、手すりと親柱子との接続は別記説明書に従って強固に取付けてください。



開梱後は換気を行なってください。

本製品は、ホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながる恐れがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

【集成材の施工における注意について】

集成材は無垢材の集積で、性能としては無垢の1枚ものよりも安定していることは事実ですが、仕上がりの含水率は乾燥すれば収縮し、湿気を吸えば膨張することが木材という性質上避けられません。こうした性質によって、施工後に亀裂、隙間、波状凹凸などが発生することがあります。これらの不具合現象は施工の方法、仕口、アイデアによってある程度未然防止することが可能といえます。下記の点について配慮してください。

- 弊社の集成材は仕上がりの含水率を10±2%に設定し、基準としております。
- 塗装仕上げ品は湿度変化に対し、安定した特質をもっております。
- 無塗装品は長期の保管や放置によって変形することがあります。
- 機能性住宅では室内が乾燥傾向にありますので配慮が必要といえます。  1
- 湿気の多い立地での住宅では膨張傾向にありますので配慮が必要です。  2
- 無塗装品では片面のみの塗装では変形等の不具合の原因となります。
- 下地の構成材がグリーン材であったりすると吸湿し、変形することがあります。
- 雨ぬれた製品はその程度によっては不具合の原因となります。
- ☐ 1住宅によっては完成後の室内平衡含水率が7%前後という特性があり、乾燥収縮は幅広製品では影響が顕著であることが見受けられます。とくに、階段の踊り場や2段、3段廻りの踏板では固定に用いられる釘、ビスの本数や位置が収縮を阻害し、亀裂の発生を誘発します。  
収縮することを予見した仕口で「逃げ」をつくってください。
- ☐ 2先とは反対の状況に置かれるもので新築のみならず増改築も対象となります。この場合も幅広製品ほど寸法変化が大きくなりますので同じように配慮してください。

これらの配慮は部材どおしの取り合いによっては釘、ビスの使用が避けられないことがあります。その際は材の動きに釘、ビス類が追従できる範囲を念頭に径、長さ、材質そして、本数、位置を決定し、できるだけ「少なめ」にしてください。

1. 開梱

梱包を解いたら製品に不足および問題がないかどうかご確認ください。  
水濡れなど不具合があった場合は必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。

【お願い】

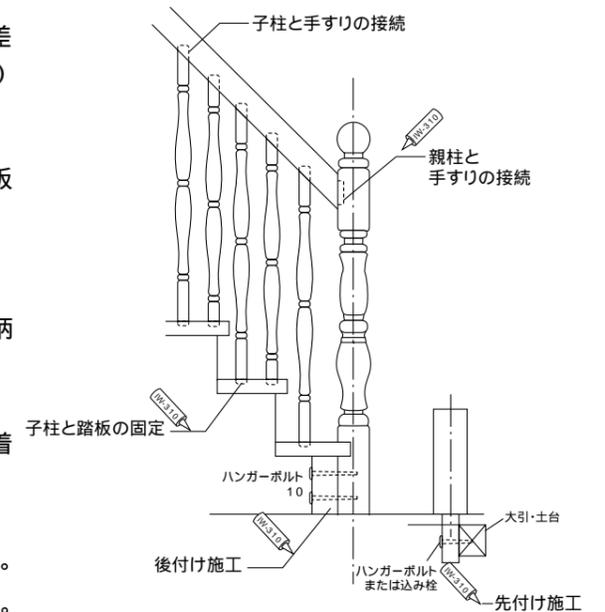
照明灯・ストーブなどを近づけると、熱により変色しますので、開梱後施工完了まで0.5メートル以上離してください。

2. 雨などに濡れた場合の処理方法

階段廻り部材は乾燥仕上げをしておりますので、運搬中または施工中、高湿度の場所に放置したり、水濡れ、洗い作業で水分を与えますと、反り、割れ、変色などの発生原因となります。  
万一濡れた場合には、すぐに乾いた布などでふき取り、乾燥させてから養生してください。

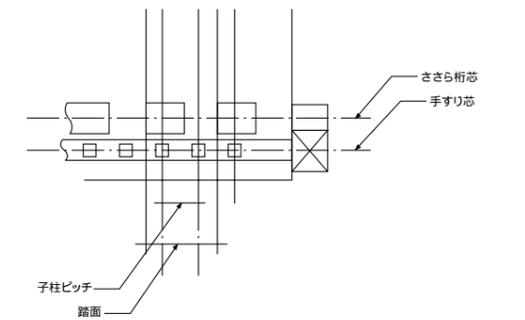
3. ヒナ段仕様の場合の施工方法

- (1) 親柱の固定方法  
先付け施工の場合は、親柱下端は柄（ほぞ）差しとし、大引、土台にハンガーボルト（10）や込み栓で接着剤を併用して固定してください。  
後付け施工の場合、蹴込み見付面合わせは踏板の鼻の出寸法分を踏板側を欠きとり、それ以上は親柱側で幅詰めしてください。
- (2) 親柱と手すりの接続方法  
親柱と手すりの仕口は柄（ほぞ）差しまたは付柄（つけほぞ）とし、接着剤を使用してください。
- (3) 子柱と踏板の固定方法  
子柱下端は柄（ほぞ）差しまたは大入れとし接着剤を使用してください。
- (4) 子柱と手すりの接続方法  
子柱上端は大入れとし、接着剤をご使用ください。
- (5) 接着剤は別売の接着剤 IW-310 をご使用ください。



4. ささら桁仕様の場合の施工方法

- (1) 子柱の位置  
子柱下端を踏板に入れる場合  
右図のようにささら桁芯と手すり芯をずらして施工してください。  
1段2本立ての子柱のピッチは踏面の1/2で施工してください。
- (2) 親柱の固定、親柱と手すりの接続  
子柱と踏板の固定、子柱と手すりの固定は前3項に準じて施工してください。



5. 施工終了後

- (1) 取付けの確認  
設計通りに取付けられているか、施工中に傷、その他の不具合が生じていないか必ず確認してください。
- (2) 使用説明書の手渡し  
同梱の「使用説明書」を使用される方にお渡しください。使用される方が不在の際は、施主様に依頼するか製品に貼り付ける等により必ず使用される方に届けられるようにご配慮願います。